

開催日	2025年10月24日(金)
開催時間	13:30～16:50
名称	建設業界におけるDXの展望 ～神奈川県内の高速道路工事と鉄道工事の事例～
主催	(公社)日本技術士会神奈川県支部
開催場所	産業貿易センター B1 階 B102 号室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	143名(会場38名+Web 105名)

内容

I 講演概要

【講演1】 高速道路新設工事におけるi-Constructionの取り組みについて

講師: 藏重 幹夫 様

新東名高速道路川西工事特定建設JV 作業所長 現場代理人 監理技術者
清水建設株式会社 技術士(建設部門)

新東名高速道路川西工事では、2017 年よりi-Construction を導入し、受発注者が協調して測量、設計、施工、検査、納品に至る一連の過程で、ICT をフル活用し生産性の向上に取り組んでいる。また、ICT 土工、リモート検査やBIM/CIM を活用したデータの一元管理など、全面的にICT を導入することで生産性・安全性向上を目指す取り組みを実施している。現状の取り組み状況について、報告された。

【講演2】 最新技術が切り拓く建設業の未来 ～BIM活用の先進事例～

講師: 佐竹 省胤 様

相鉄鶴ヶ峰連立地下化建設所 工事長
清水建設株式会社 技術士(建設部門)

建設業界の DX、とりわけ BIM/CIM 導入は急務ながら普及は停滞している。本講演「最新技術が切り拓く建設業の未来」では、鉄道工事を題材に、施工計画から施工管理、将来は維持管理に向けての全ステップで BIM/CIM を活用し、生産性を大幅に向上させた事例を解説された。加えて、静的 BIM モデルと現場データを同期した動的 BIM モデルをもとにデジタルツインを構築し、施工検討から実施工、遠隔管理まで ICT 技術を連携させる最新手法を紹介された。これらの実践例から、今後の建設業が目指すべき方向性と可能性について展望できた。



講演 1: 藏重幹夫氏



講演 2: 佐竹省胤氏



会場風景